

富士市議会議員 山下いづみ後援会ニュース

第3号

湧きでるいづみ



こんにちは！議員になり3ヶ月です。毎日、皆さんに暖かい応援を支えに努力をしています。本当にありがとうございます。山積みになる資料にてんてこまいし、人々と話し、勉強することがいっぱいです。こんなにも、やりがいのある職に就かさせていただけたことは「しあわせ者」の一言につきます。感謝！元気にいきましょう！



愛ある言葉 (3)

「愛は争わない」（合気道開祖・植芝盛平）

会派は無所属の女性3人で！

私は子どもと家族支援がもっと良くなるように願い、市議に挑戦しました。教育・福祉に特に情熱を持つ会派未来ネットで勉強させていただきます。



(左から小沢議員、横井議員、私、山下です。)

☆福祉視察：東松山市、北秋田市に行ってきました（7月6～8日）



(ケアタウンたかのす正面)



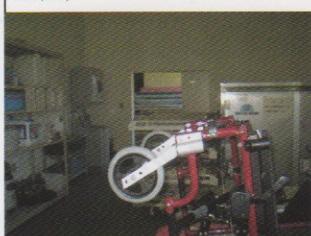
(ギャラリーのような廊下)



(廊下のコーナー)



(中庭は広々と)



(レンタル補助器具の洗浄・消毒)



(写真はたかのす)

♪東松山市「福祉総合エリア」～だれでも困ったときに手をさしのべる

誰もが利用できる支援の拠点として統合的支援を提供しています。「もっともだ」と感じたことは、福祉は障害者の人たちの為でなく、すべての人たちが支援が必要な状態のときに支援できるしくみであることが必要だということです。

♪北秋田市「ケアタウンたかのす」～高齢者がいつも元気に！

デンマークの福祉を参考に作り上げていったそうです。第一印象は「わ～気持ちがいい空間」でした。個人の自由を害さないサービスや住居の作り方は、高齢者のみなさんの自尊心を高め、生きる喜びを実感するのでは、と感想をもちました。

♪シンポジウム「おなご(女)の知恵が政治を動かす」

「女性の視点」から、生活に直面した問題点の解決策を、市民、政治家、建築家から聞きました。今回、福祉は政治によって、良くも悪くもなってしまうのだと考えさせられました。協力と持続のできない行政と民間の連携は市民を苦しめるのではないかでしょうか？

2007年8月15日

発行元：山下いづみ 後援会事務所

〒417-0001 静岡県富士市今泉8-13-11

Tel&Fax 0545-53-2458

E-mail iyamashita64@cpost.plala.or.jp

Blog http://izumiworld.exblog.jp

携帯「メルマガ」登録

QRコードを
読み取り、
空メールを
送信すれば
登録完了。
「いづ友」になろう！



2007年6月27日 山下いづみ

初
の

一

般

質

問



「山下いづみ」のテーマは笑顔の泉の発掘です。～癒しの泉・護りの泉・美しい泉・文化の泉

1. 学校サポート員活用をより実質的に（癒しの泉）

Q.ニーズ調査を的確にしているのか？ 人数よりは必要な場所に必要な人数の配置の必要では？

A.クラスの人数が多いところから緊急度、必要度をみて基準にそって行っている。

Q.担任としっかりと連携をとる必要があるのではないか？サポート員から話す機会がないという声もある。

A.勤務時間配慮なので、話す時間がとりにくくなっているのが現状で、少し検討していくかなくてはいけない。改善し、増やしていく気持ちはある。

Q.配属される学校、生徒の様子、サポートの仕方等、必要な情報を事前に研修する必要があるのでは？

A.年4回研修は行っているが、事例を元に実態を把握し、方向を検討していく。

2. 部活動の選択幅を広げる必要性（護りの泉）

Q.他校の部活動に参加できるか？民間で行う習い事を部活動とみなすことは可能か？

A.個人競技については、道は開かれている。保護者が学校と相談すれば、よりよい結論をだしてくれると思う。また運営委員会に、検討することなど、伝えておく。

Q.地域の人材を部活動指導者としての活用は進んでいるか？これは平成16年度の「地域と連携した運動部活動」プロジェクト終了時の課題であり、保護者や子どもたちの声もある。

A.リーダーバンクを活用し、部活動の補佐役として活用している。

初めての議會質問、子どもたちが元気に学べるよう、先生方の手助けになる教育現場の仕組み改善を願って臨みました。行政からは、「実態把握」への方向性を示唆する回答をいくつか得ることができました。しかし、私の質問は、現状の問題を訴える現場の声を集めた声であり、学校現場を把握していない行政という印象を強く受けました。サポート員活用事業に関しては、専門家が企画から調査、実施、評価する必要があります。部活動は、現状の子どもたちの生活スタイルと少子化という社会現状に大して、柔軟に対応する必要があります。このような「実質的な支援のための提案」をしたものとして、今後は担当課に定期的に足を運び、改善の結果をチェックしていきたいと思います。皆さんにも紙面を通じてご報告していきます。☆☆☆



いづみ磨き（5月～7月）

● 第50回日本家庭科教育学会参加

家庭不和、虐待、DV、いじめの予防・解決には家庭科教育、家政学を復興することだと考えています。これからも意見を言い続けます。

● 大阪教育大学大学院で出前講義

私の専門分野（子ども＆家族）からどう「児童虐待の予防・ケア」ができるのか、お話ししました。



後援会からのお知らせ

年に4回（6・9・11・2月）定例議会があります。毎回の定例議会終了後に後援会ニュース「湧きでるいづみ」を発行します。楽しみにお待ちください。ご感想やご要望もぜひ、お寄せください。お待ちしています。



いづみのほっと一息

京都の岩船寺、淨瑠璃寺、当尾の石仏めぐりをしました。ほんの1日でしたが、ひとり、小道を歩きながら心静かになれるひと時でした。

（当尾の無人販売）



投稿・論文コーナー

生活経営学研究 No.42
 「公共サービス・大学機関による地域家族サポートの日米比較－日本における展望」（社）日本家政学会 生活経営学部会
 2007年3月号（ご覧になりたい方は山下まで）